



「きりん・ぞう組☆夏祭り始まるよ～☆」

今年はコロナウイルスが流行しているため、ほとんどの行事が中止になっています。そんな中、少しでも子どもたちと夏の気分を味わって楽しめることがないかなと思い夏祭りごっこを計画しました。

夏祭りごっこをするにあたり、まずは子どもたちにお祭りのイメージをもってほしいと思いました。そこでどんな物だと夏祭りをイメージしやすいかと考えた時に、目で見て分かる『法被』と『はちまき』を用意してみました。子どもたちがどんな反応をするのか様子を見てみました。



法被、はちまき

「先生これ着てもいい？」
「おまつりや」



目新しいものにはみんな興味深々です。早速反応がありました！



1番初めに法被に気付いたRちゃん。法被を見て「おまつりや。」と言っていました。法被＝おまつり、というイメージがあるようです。

目新しいものもあってか早速子どもたちが反応を示してくれました。法被を見て「おまつりや。」という反応には正直びっくりしました。自分が経験したり見たことを覚えていたのですかね。その後、子どもたちに夏祭りの絵本を読み、更に夏祭りのイメージを膨らませていきました。



Rちゃんの法被姿を見て、うらやましくなった友だちも次々と法被を着用し、ご満悦の様子です。

夏祭りごっこの準備開始！！

子どもたちと一緒に準備をするために廃材を用意しました。子どもたちには「一緒にしよう。」など、あえて声はかけなかったのですが、廃材を出した途端「なににするん？」「〇〇もしたい！」と子どもたちが集まってきました。



画用紙を丸めてポテトを作っています。



「ポテト作りたい。」



「テープしたい。」
「くっつく（テープが）。難しいなあ。」



看板にお絵かきをしています。クレヨンを使って思い思いの絵を書いています。



「できたよ！」

保育教諭と一緒にりんご飴を作っています。「テープしたい。」と保育教諭にやり方を教えてもらいながら自分でテープをちぎっています。指先を使うので「難しいなあ。」とつぶやきながらも頑張っていました。

根気よく大量の画用紙を丸めて作っていたHちゃん。嬉しそうです☆



絵の具で色をつけています。手に絵の具がつかないように慎重に色をつけています。

他にも「かき氷作りたい。」「ぶどうの飴作る。」など子どもたちからのリクエストもあり保育教諭と一緒に考えながら作りました。中には自分で想像を膨らませながら「ジュース作る」「ストローちょうだい」などイメージしたものに必要な材料を保育教諭に要求して自分で制作する子もいました。また、筆を使って絵の具で色塗りをする時に、手に絵の具がついてしまったことから、筆などの持ち方を考えたり、「手につくから気をつけて。」など友だちに教えてあげたりする姿も見られました。自分が経験したことを振り返ったり、友だちに教えてあげる姿などがとても成長を感じました。次回はみんなで作った制作物を使ってお祭りごっこをしている姿を配信します。お楽しみに☆